

ウィグルの民族浄化を放置しておいていいのか

普段は無知なくせに、たまたま妖怪変化（ヨーカイヘンゲ）を知っていたガキがいて、「おい、ヨウカイヘンカだってよ！」と囃し立てる。（ふつうは、こういう恥を掻きながらいろんな言葉を覚えるもので別に恥ずかしいものでもなんでもない。）そういう時に、いい歳をした大人が鬼の首でも取ったかの如くはしゃぎまわるのは、みっともないことである。

SNS かなにかで、香山リカが、正義感溢れる若者（だろう、男か女かわからないし、年齢もわからない。匿名の悪いところである。）が、たまたまウィグルを打ちそこなった。すると、この若者の無知をからかう。曰く、《ウグイ、ウルグイ、ウイルグ、ウルグアイ。さて中国で人権問題がおきている地区はどこでしょう！？えーとえーと・・・グイウル！》香山リカは精神科の医師を名乗っているが事実かどうかは不明である。ちょっとした月刊誌にもまとめて書いたこともないし（これは編集者が無駄だろうと理解しているからと思われる）、短い文章を時々書いているようだが、何が言いたいのか、まったくわからない。で、SNS で炎上しているらしい。・・・たまたま目立ちたかったのかもしれないが、冒頭に書いたように、ガキがはしゃいでいるのとどれほどの違いがあるのだろうか。読んだわけではないが、少なくとも中国共産党の非道に対する意見だろう、可笑しくもなんともない。正義感溢れる行為ではないか。そういう意見を集めて、政府を動かすこともできるかも知れない。

問題は、香山が「ウィグルが中国の領土である」ことをみとめていることで、東トルキスタンという国名を知らないだけである。つまりは、無知。中国共産党が、強引に「中国領」だと攻め入っていることを知らない、ということである。ウィグル人の彼ら彼女らは、中国の一部などとは認めていないことなのである。もともとウィグル人は、放牧の民だから、国境などには興味がなかった。・・・チベット問題にしても、古来、国境というものはなく、大雑把に「この辺まで・・・」と住み分けてきた。そういう牧歌的な風景を一変させたのは、突然の中国共産党の侵攻である。内モンゴルもそうで、モンゴルが独立するとき、取り残されたモンゴル人たちが放牧で生活しているところを襲ったのは、中国共産党である。

満洲もそうで、ここは清の故郷であり、中国領だったことは史上一度もない。その証拠は、万里の長城である。これよりも北東は、清の人々が優雅に放牧しながら生活していた。稀代の詐欺師孫文が勝手に売りつけただけであ

る。長城の南端は山海関であり、満洲の西である。(山海関の東にあるから満洲軍を関東軍と呼ぶ。) 自治区と表現しているが、事実上は植民地で、搾取ばかりしている。ウイグルでは、核実験を繰り返しおこなってきて、これもウイグル人は、当然ながら納得しているわけでもない。

ウイグルの民族浄化は、ナチスがユダヤ人を根絶させようとしたように、あるいはそれ以上に人類最大の悪行、人道に悖る罪(ホロコースト、ジェノサイド)と同様のことをしているのは、中国共産党である。ウイグル人の生活、文化、言語、文明、歴史的な習慣、文化財などさらには生命までを根こそぎ消滅させようとしているのを、からかうなど、あってはならないことである。彼らは、「命懸け」で自分たちの文化や習慣を守ろうとしている。日本で公になったきっかけのひとつは、清水ともみさんの漫画である。ここには、似顔絵とともに、本名も明らかにしているウイグル人が何人もいる。彼ら、彼女らの訴えを、あざ笑うかのような香山リカのバカげた指摘は、とても正気の沙汰ではない。清水さんは、写真を撮影するとき、素顔がわからないようにしている。日本人として恥ずかしい話ではあるが、「スパイ防止法」のない日本で、共産党員に暗殺されないためである。

そこまで気を配っている事態になっているのに、たかが一部を間違えただけで罵倒するなど、まともな成人の感覚の人間ではない。ウイグル人への虐待、虐殺がそれほど楽しいのだろうか。とても人間の発想とは思えない、単なるクズだな。

世界中の自由主義国は、ナチスに懲りて「人権」に敏感である。さらに米国は、原爆投下という人道に対する罪まで冒している。米国の黒人差別やヒスパニック、アジア系移民に対する差別は、表面化するたびに、警察や犯人たちは、厳罰を受けている。少なくとも国家の上層部は、白人の白人以外への差別を糾弾している。国民(白人の一部)の知的レベルが低いこともあるし、惻隱の情など、考えたこともないのだろう。恥ずかしい話ではある。精神的な成熟度ははるかに日本におよばない。香山リカは、日本人の恥を世界に曝しているバカである。

香山リカなど大した影響力もないし、もともと何をしているのかもわからない者など、どうでもいいと言えばそうだろう。もっとひどいのがいるのである。元新潟県知事の米山隆一である。現職の知事の時、未成年の買春がバレて新潟政界から追放された馬鹿者である。こいつは、ツイッター上で一

般ユーザーを引用リツイートで「いや全く。ウイグル問題って、日本人にはいくら何を言ったってどうしようもない話で、そんなのに熱心だからって、それはただひたすら世界平和を祈るような話で、何程も現実を変えないですよ」あれほどのできごとをまったくの他人事として痴れっつと表現する。おい、少なくとも県知事にまでなった男が何を言っているのか。さすがに新潟県民も恥じて追放してしまった。「そんなのに」などとおまえには、言われたくない。「世界平和を願うことがおかしいのか？」現実に世界平和を達成しようとするれば、戦争をしてどこかの国が世界制覇をして、という話になる。チンギス・ハーンの時代じゃあるまいし、そんなことができるわけがない。中国共産党がそれを考えていたとして賛成すれば、世界が平和になるのかいな！

こいつの性質の悪さは、ごく普通に考えて意見が山ほどでてくるだろう、すると弁護士でありながら、スラップ訴訟（後述）を仕掛けてくるのである。スラップ訴訟の説明は何種類もあり、それぞれよくわかるが、要するに「訴訟するぞ」と脅して相手の意見を抹殺しようとすることである。朝日新聞がよく使う方法で、言論に対しては言論をもって反論するべきで、（出来損ないの憲法にも書いてある。）卑劣な論法である。「訴訟」を嫌がる理由はいくつもあるが、たとえば経済的に苦しいとか、裁判官がアホで、負けるかもしれない、とか。ボク個人は、時間を取られるのが嫌というのが理由である。しかも、第1回口頭弁論の直前に和解しようなどという。すこしでも金になることならなんでもする。相手があきれてしまう。理不尽な訴訟については、負ける要素はないが、時間ももったいない。・・・初めて知ったのだが、この男にも嫁がいる。TVでスカタンなコメントを大声で語る室井祐月だという。「破れ鍋にとじ蓋」やな。新型コロナのクラスターを起こした病院を責める、という、ワイドショーに典型的な、無知・無恥でもなんでもゆうたもん勝ちのコメンテーターをしていたらしいが、さすがに「出すな！（出演させるな！）」の声に局側がビビって、最近はみたことがない。ボクもそれほど暇ではないから、ワイドショーをほとんどみないから気が付かなかった。病院のクラスターを恥ずかしいと罵る。病院のクラスターの原因は、病院側の問題と患者側の問題とが複雑に絡んでいる。一概にどちらがどうという問題ではない。患者本人も気づいておらず、病院側も新型コロナの症状がなければスルーしてしまう可能性があるのだ。それもわからないようなコメンテーターがあるのかいな！ おまけに自らが漏らした偽計業務妨害発言をないものとして、その反論に対してスラップ訴訟の準備をするという、天をも恐れぬ所

行である。世の中から消えてほしい夫婦である。

スラップ訴訟 (Strategic Lawsuit Against Public Participation) の説明をしておけば、

- ① 「公的参加を妨げるための戦略的訴訟」(松井茂記)
- ② 「公的意見表明の妨害を狙って提訴される民事訴訟」(烏賀陽弘道)
- ③ 「戦略に基づく公的参加封じ込め訴訟」(藤田尚則)などと訳されている。

まあ、一言でいえば、口では敵いそうもないから、弁護士資格を最大限利用して脅しの意味で「訴えるぞ！」と言っているようなもの。

大体、米山如き連中は、面従腹背の前川喜平や、何をいっても必ず失言が飛び出す上西小百合などといった、不祥事の常連と同じレベルのスポーツ新聞の欄に載っていそうな人格らしい。

ウィグルの弾圧で、虐待・虐殺は日常茶飯事という。中国人の虐殺というのは凄惨なもので、たとえば大東亜戦争の直前、通州事件のとき、日本人が多数惨殺された。あまりの惨たらしさに、「生きて虜囚となるなかれ、」という戦陣訓を作ったのは、中国人に生きて捕虜になると、一寸刻み、五分刻みで、1週間もかけて絶命にいたるような拷問をする。本人も周囲の人も悲惨な思いをするからと、指導者が兵に教えたものである。それが、チベットやウィグルでは日常的に行われている、ということである。(ただし、中国共産党の言うような、日本人の虐殺、たとえば南京大虐殺などというのは、単なる捏造である。その証拠もいくらでもある。)あまりの凄惨さにあまり書かないようにしているから、真実からまったくはずれた日本軍の虐殺を主張しているが、たとえ中国兵に日本人が虐殺されても、日本人はその報復などするはずがないし、現にそういうことはしなかった。毛沢東が日本人の賓客に、「蒋介石軍を追い払ってくれてありがとう」と言ったというが、こういう歴史が「日本人による虐殺」が捏造であることを証明している。・・・南京大虐殺と称するものは、一般市民に隠れてまぎれこんで日本人の殺害をするから、やむなく射殺したもので、気の毒にもその巻き添えになった人もいるだろう。日本人のなかにもサディスティックな者がいて(沖縄戦で戦死した長がそうだ、と長を知る者は、あいつならやりかねん、と言う。)捕虜を殺害したらしい。それでも、一般市民を積極的に攻撃することはない。

古来日本の戦争というのは、住民を巻き込まないものだった。関ヶ原でも日露戦争でも、住民は弁当を持って見学していたのである。このことから、

住民の虐殺はありえない。まれに、住民の中に紛れ込んで日本軍を攻撃するという卑劣な戦法を使う者は抹殺せざるを得ない。このときの流れ弾が当たって亡くなった人はいるかもしれない。……住民まで巻き込んで攻撃し殺傷するのは、米軍である。アメリカン・インディアン（言葉の言い換えは得意なところで、今は、勝手にネイティヴ・アメリカンと呼んで、一応差別をしていないように表現するが）をほとんど絶滅種にしたのもアメリカで、だから平気で原爆も落とせたのである。フィリピンの 10 万人の殺害は日本軍がしたようにアメリカは言うが、実際には、日本人とフィリピン人の区別がつかないからアメリカ人が全員を殺して、あとから確かめればいい、と考えたのである。その前に日本軍は、アメリカ人捕虜を解放している。武士の情けを知らぬアメリカ人は、度し難し。いかにもマッカーサーの考えそうなことである。

抗日運動をしていたのは、蒋介石であって共産党軍ではない。大陸にいるとき、米軍のウェデマイヤー将軍が蒋介石軍の参謀になったが、この人のお蔭で、満洲奥地の民間人の命が救われた。ウェデマイヤーは、蒋介石夫妻の金に対する汚さに辟易したらしい。結局共産党軍に追われ、台湾に渡って台湾の知的階級のほとんどを虐殺した。これを外省人と呼び、旧来の日本の植民地として 50 年間統治されていた人々を内省人とよぶ。現在は混じってしまったが、東日本大震災では、2000 億円もの義捐金を送ってくれた。悪夢の民主党政権は中国共産党に阿ってきちんと台湾のことを報告（真っ先に送ってくれたこと）しなかった。かれらの年収を考えれば、日本は 1 兆円以上送らねばならない。民主党政権では、冗談でなく、共産党政権に国を売る可能性があったのである。

よくまあ、政権を投げ出してくれたものである。自衛隊を「暴力装置」と呼び、その暴力装置がいなければ、東日本大震災の被害はもっと大きくなっただろう。……この残党が「野党」で残っているのだから、何もレンホーやクズみたいなのがおろうがおるまいが、支持率は上がらない。……そんなことよりも媚中派の抹殺にエネルギーを使うべきだ。台湾、香港、内モンゴル、チベット、ウイグル、いずれも共産党政権に抵抗している。日本に助けを求めている。義をみてせざるは、勇無きなり。